

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社カクヤスグループ 上場取引所 東  
 コード番号 7686 URL <https://www.kakuyasu-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 安希彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 前垣内 洋行 TEL 03-5959-3088  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	84,708	32.2	105	-	100	-	△202	-
2022年3月期第3四半期	64,098	2.3	△2,572	-	△2,152	-	△1,761	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △183百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 △1,795百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△21.73	-
2022年3月期第3四半期	△196.11	-

(注) 2023年3月期第3四半期及び2022年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載をしております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	36,295	1,946	5.4
2022年3月期	28,541	2,307	8.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,946百万円 2022年3月期 2,307百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	10.00	-	10.00	20.00
2023年3月期	-	10.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	33.3	400	-	400	-	200	-	21.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予測につきましては、本日公表の「2023年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	9,571,700株	2022年3月期	9,312,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	244,244株	2022年3月期	44株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	9,323,486株	2022年3月期3Q	8,981,506株

(注) 2023年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の保有する当社株式（2023年3月期3Q 244,200株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、行動制限の緩和等で社会・経済活動が緩やかに正常化する動きが見られたものの、急激な円安進行、物価の上昇等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

酒類食品流通業界においては、行動制限の緩和に伴い需要が回復基調にあるものの、大人数での宴会・会食の自粛や消費者の生活様式の変化等により引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは「お客様のご要望になんでも応えたい」という企業理念のもと、「お酒を中心とした流通のインフラ」となるべく、事業活動を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、人流活発化に伴う飲食店等での需要取込みや品揃えの強化等による拡販活動を強化しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高84,708百万円（前年同期比32.2%増）、営業利益105百万円（前年同期は営業損失2,572百万円）、経常利益100百万円（前年同期は経常損失2,152百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失202百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,761百万円）となりました。

売上区分別の売上状況につきましては、売上構成比が「業務用」65.1%、「宅配」18.4%、「POS（注）」14.9%、「卸その他」1.6%となりました。

「業務用」の売上高は、55,175百万円（前年同期比62.6%増）となりました。市場回復が進んだことに加え、昨年10月以降の酒類価格の改定により、客数・客単価ともに前年同期を大きく上回りました。

「宅配」の売上高は、15,587百万円（前年同期比2.3%減）となりました。家庭内の家飲み需要が緊急事態宣言下での前年程の伸びを見せず、売上高、顧客数は前年同期を下回りました。客単価は前年同期を上回っております。

「POS」の売上高は、12,618百万円（前年同期比5.1%減）となりました。「宅配」同様、家庭内の家飲み需要が緊急事態宣言下での前年程の伸びを見せず、売上高、顧客数は前年同期を下回りました。客単価は前年同期を上回っております。

「卸その他」の売上高は、1,326百万円（前年同期比45.4%増）となりました。

なお、当社グループは、酒類販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

（注）POSとは「Point of sale system」（販売時点情報管理システム）の略であり、お客様来店時のPOSレジ購入売上を指します。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,753百万円増加し、36,295百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8,040百万円増加し、23,581百万円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の増加4,219百万円、商品の増加1,531百万円、現金及び預金の増加1,512百万円及び未収入金の増加1,233百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ286百万円減少し、12,714百万円となりました。主な要因はソフトウェアの減少109百万円、投資有価証券の減少58百万円、繰延税金資産の減少43百万円によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ8,115百万円増加し、34,348百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8,518百万円増加し、29,742百万円となりました。主な要因は買掛金の増加6,576百万円、流動負債のその他（主に預り金）の増加1,985百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ403百万円減少し、4,606百万円となりました。主な要因は長期借入金の減少501百万円によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ361百万円減少し、1,946百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少202百万円及び利益剰余金の配当による減少186百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間では営業利益、経常利益の黒字化を達成したものの、12月での業務用売上のマーケットの回復ペースが予想を下回ったことなどから、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算出し修正させていただきます。詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,748	4,261
受取手形及び売掛金	5,586	9,806
商品	4,274	5,806
未収入金	1,075	2,308
その他	1,895	1,469
貸倒引当金	△39	△70
流動資産合計	15,540	23,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,887	3,885
車両運搬具（純額）	1	1
工具、器具及び備品（純額）	267	286
土地	3,002	3,002
リース資産（純額）	1	0
有形固定資産合計	7,160	7,175
無形固定資産		
のれん	1,325	1,205
ソフトウェア	681	572
リース資産	39	10
その他	3	3
無形固定資産合計	2,050	1,792
投資その他の資産		
投資有価証券	293	235
繰延税金資産	1,210	1,167
敷金及び保証金	2,154	2,147
その他	256	268
貸倒引当金	△125	△71
投資その他の資産合計	3,789	3,746
固定資産合計	13,000	12,714
資産合計	28,541	36,295

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,393	17,970
短期借入金	7,645	7,716
リース債務	35	9
未払法人税等	105	54
賞与引当金	319	280
資産除去債務	3	4
その他	1,720	3,706
流動負債合計	21,224	29,742
固定負債		
長期借入金	4,080	3,578
リース債務	3	1
繰延税金負債	44	54
退職給付に係る負債	101	106
資産除去債務	739	721
その他	40	143
固定負債合計	5,009	4,606
負債合計	26,233	34,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	38	42
資本剰余金	3,217	3,550
利益剰余金	△1,025	△1,414
自己株式	△0	△329
株主資本合計	2,229	1,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77	97
その他の包括利益累計額合計	77	97
純資産合計	2,307	1,946
負債純資産合計	28,541	36,295

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	64,098	84,708
売上原価	50,446	66,587
売上総利益	13,651	18,120
販売費及び一般管理費	16,224	18,015
営業利益又は営業損失(△)	△2,572	105
営業外収益		
受取利息	3	3
受取手数料	6	10
助成金収入	421	14
その他	63	27
営業外収益合計	495	56
営業外費用		
支払利息	43	47
その他	32	14
営業外費用合計	76	61
経常利益又は経常損失(△)	△2,152	100
特別利益		
投資有価証券売却益	49	15
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	49	15
特別損失		
投資有価証券評価損	16	0
投資有価証券売却損	—	1
固定資産除却損	1	5
減損損失	90	200
特別損失合計	108	207
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,212	△91
法人税、住民税及び事業税	38	67
法人税等調整額	△488	43
法人税等合計	△450	110
四半期純損失(△)	△1,761	△202
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,761	△202



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純損失（△）	△1,761	△202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	19
その他の包括利益合計	△34	19
四半期包括利益	△1,795	△183
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,795	△183
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。